

平成 30 年 3 月定例会

# 教育委員会定例会会議録

書記 菊池 亮

書記 工藤 貴裕

## 塩竈市教育委員会定例会会議録

◆日 時 平成 30 年 3 月 23 日（金） 午後 3 時 00 分～午後 4 時 40 分

◆場 所 壺番館 3 階 共用会議室

### ◆出席委員

教 育 長	高 橋	睦 麿	教育長職務代理者	柴 田	仁 市 郎
委 員	太 田	忍 委	員	池 野	暢 子
委 員	佐 浦	弘 一			

### ◆事務局

教 育 部 長	阿 部	光 浩	教育総務課長	本 田	幹 枝
学校 教育 課長	遠 山	勝 治	生涯学習課長	伊 藤	英 史
市民交流センター館長	伊 東	英 二	教育総務課総務係長	菊 池	亮
教育総務課主査	工 藤	貴 裕			

### ◆定例会次第

- 1 開会
- 2 前回会議録承認
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 教育長報告
  - ① 第 7 回管内教育委員会教育長会議について
  - ② 本市の教育活動の状況について
- 5 専決処分報告
  - ① 塩竈市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
- 6 議案
  - ① 議案第 2 号 塩竈市教育委員会事務局職員の人事について
  - ② 議案第 3 号 塩竈市教育委員会事務局の組織等に関する規則の一部を改正する規則について
- 7 その他報告
  - ① 平成 29 年度塩竈市教区論文入選者について
  - ② 塩竈の子どもたちと神戸の高校生との交流事業（塩竈招待プログラム）について
  - ③ 平成 29 年度第 2 回塩竈市社会教育委員の会議について
  - ④ 平成 29 年度第 2 回スポーツ推進審議会の会議について
  - ⑤ 平成 29 年度第 2 回生涯学習センター審議会の会議について
  - ⑥ 平成 29 年度わくわく遊び隊各小学校運営委員会合同会議について
- 8 閉会

## 1 開会 午後3時00分

## 2 前回会議録委員の署名

柴田委員から報告、承認

## 3 会議録署名委員の指名

太田委員と佐浦委員を指名

## 4 教育長報告

(1)高橋教育長から、以下のことについて報告

- ① 第7回管内教育委員会教育長会議について
- ② 本市の教育活動の状況について

[主な質疑]

- ・ 柴田委員 教員の事故防止について、報道等を見ていると年々、教員の処分者が増えているように感じるのだが、その背景には何があるのか。
- ・ 高橋教育長 一つは体罰に対する認識が厳しくなったことがあると思う。例えば、昔は指導の中で軽く頭を叩くということもあり、当時はそれが許容されていたが、今は許容されなくなった。そうした状況にもかかわらず、今でも昔の認識で指導をしてしまう教員がいることが背景にあるのではないか。
- ・ 池野委員 昔は授業中に騒いだりした生徒は廊下に立たされていたが、今はそうしたことも体罰になるのか。
- ・ 高橋教育長 体罰になる。今は、大きな声で指導したことも暴言になってしまう。今の子供達は家庭でも叱られたり、叩かれたりというような指導をされていないので、学校でそれをされたときに問題になってしまう。そうした背景に合わせて、指導方法を変えなければならない時代になっている。
- ・ 柴田委員 昔の認識で指導している教員が入れ替わるまでは、時間がかかるのではないか。
- ・ 高橋教育長 教員の処分者が増えている背景として、もう一つが若い教員の指導力不足ということもある。つまりは、指導力が未熟なため、言葉で指導できずに手が出てしまう。今は、昔の認識の教員と若い教員の両方を指導していかなければならない状況である。
- ・ 太田委員 教員と生徒、教員と生徒の両親との信頼関係があれば、多少叱るような指導をしても許容されると思うが。
- ・ 柴田委員 我々の世代は、多少の指導はというような時代だったが。

- ・ 高橋教育長 今は、そういう時代ではない。今は、過失で何か怪我をさせてしまっても、いじめだと言われて問題になる時代になった。
- ・ 太田委員 どんどん教員の方が委縮してしまうように思う。
- ・ 高橋教育長 しかし、教員は言葉を使ってする仕事なので、言葉で説得をする。言葉で納得をさせる。時間をかけてするのが本道。別に強く出なくても、大人として毅然とした態度で、子供達と接するのが大切である。
- ・ 池野委員 教員の病気休暇や分限休職について、精神疾患の方が多いいということだが、最近の若い人は打たれ弱い方が多いが、教員にもその傾向があるのか。
- ・ 高橋教育長 そうしたデータがあるわけではないが、若い教員に特に多いということではなく、年配の教員にも精神疾患で休職する人はいる。

## 5 専決処分報告

(1)伊藤生涯学習課長から、以下のことについて報告

① 塩竈市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

[主な質疑]

- ・ 池野委員 医師会からの推薦者が決まっていないが、会議の曜日は決まっているのか。
- ・ 伊藤生涯学習課長 年二回を予定している。なお、医師会からの推薦者については、現在交渉中である。
- ・ 高橋教育長 会議の持ち方についても、論点を明確にするとか、時間配分についても考えるということで、この間の会議に臨んだところである。

## 6 議案

(1)本田教育総務課長から、以下のことについて報告

① 議案第2号 塩竈市教育委員会事務局職員の人事について

② 議案第3号 塩竈市教育委員会事務局の組織等に関する規則の一部を改正する規則について

[主な質疑]

なし

## 7 その他報告

(1)遠山学校教育課長から、以下のことについて報告

① 平成29年度塩竈市教育論文入選者について

② 塩竈の子どもたちと神戸の高校生との交流事業（塩竈招待プログラム）  
について

〔主な質疑〕

- ・ 柴田委員 塩竈招待プログラムについて、神戸側参加者の NPO 法人日本福祉美容協会は、どのような関係があるのか。
- ・ 高橋教育長 理事長の西山さんという方が、神戸で美容店を経営しており、当初その会社で、宮城のために募金を募って、何かをしようとしたのがきっかけであると聞いている。その後、阿部議員の紹介で、震災の経験を伝承することとなり、神戸の高校生たちも震災から 20 年以上経過し、震災を経験していない世代であることから、宮城に来て震災について学び、逆に宮城の子供達に復興した神戸を見せることで、お互いに防災について勉強させることを目的にして「未来の宝夢と希望の架け橋プロジェクト」を企画されており、その募金でもって、毎年実施してもらっている。そのお返しとして、本事業をすることとなったものである。

(2) 伊藤生涯学習課長から、以下のことについて報告

- ③ 平成 29 年度第 2 回塩竈市社会教育委員の会議について
- ④ 平成 29 年度第 2 回スポーツ推進審議会の会議について
- ⑤ 平成 29 年度第 2 回生涯学習センター審議会の会議について
- ⑥ 平成 29 年度わくわく遊び隊各小学校運営委員会合同会議について

〔主な質疑〕

- ・ 佐浦委員 社会教育委員の会議について、社会教育関係団体に認定されると何かあるのか。
- ・ 伊藤生涯学習課長 公民館等の利用料が減免になる。非営利であるとか、市民の構成員が何人いるのか等の基準をもって、2 年に 1 回、審査している。
- ・ 柴田委員 スポーツ推進審議会の会議について、小学生においては「わくわく遊び隊」という素晴らしいものがある。総合型スポーツクラブは中学校以上から必要だと考える。昨今、教員の多忙化の原因としてあげられる部活動の問題を解消するために、総合型スポーツクラブで中学生の部活動の部分を支えるような環境になれば良いのではないか。
- ・ 伊藤生涯学習課長 スポーツ推進審議会でも、まさに同じ意見をいただいた。
- ・ 池野委員 生涯学習センター審議会の会議について、美術館のリピーター率が取れないというのはどういうことか。
- ・ 伊藤生涯学習課長 アンケート等を実施していないこともあるが、美術館でも通年で同じ企画をしている訳ではなく、様々な企画を催しているので、数値化したとして、それがリピーター率と言えるのかどうか疑問がある。

- ・ 太田委員 わくわく遊び隊運営委員会の会議について、わくわく遊び隊はとても良い取り組みだと思う。ただ、アンケート結果を見ると、わくわく遊び隊の継続を9割の親御さんが望んでいるが、見守り隊として協力できると回答している方が1割というのが気になった。今後、5割くらいは見守り隊として協力できると回答してもらえるようになればと思う。
- ・ 高橋教育長 皆さん働いているということもあるかと思う。PTAの方々は今後も協力していきたいと話をしていたので、今後も継続していければと思う。

## 8 閉会 午後4時40分

《会議録署名委員》

2 番委員

(太田委員)

4 番委員

(佐浦委員)